

「のどからの風」展

2024年

大地震後、能登の人たちは

どう生きてきたか

— 能登の障害者支援事業所の取り組みから —

写真パネル展

20か所余りの事業所の震災当時の様子などを多数展示



現地からの報告

事業所のスタッフの方々に、地震当時の様子やその後の取り組み、みなさんに伝えたいことなどを話していただきます

商品販売

能登の事業所で製造している食品やグッズを販売
食べて、買って、応援しよう！



主催：ゆめ風ネット加賀

後援：金沢市、小松市、白山市、一般財団法人小松市教育労働会館

共催：金沢市障害児通園施設ひまわり教室、社会福祉法人ゆいパッチワーク、NPO法人地域支援センターポレポレ、NPO法人希づき金沢つながりの会、社会福祉法人ひびき、白山・野々市つながりの会、NPO法人あんとふる、ひだまりの会

お問い合わせ ゆめ風ネット加賀(金沢市十一屋町4-34 ☎ & FAX076-243-6786 ✉ kz-himawari@wine.ocn.ne.jp)ひまわり教室気付

「のどからの風」展へのお誘い

1月1日のあの大地震から、まもなく7か月がたとうとしています。あの日能登半島を襲った大地震は、能登の人々の日常生活を丸ごと奪ってしまいました。7か月近くたった今も、能登のみなさんの日常が戻る見通しが全く立っていません。

今度の地震では、能登にある障害者支援事業所も大きな被害を受けました。今もそれぞれの事業所では多くの困難をかかえながら、くじけずに取り組みを重ねています。

私たち「ゆめ風ネット加賀」では、発災直後から被災した事業所の支援をしてきました。これからもまだまだ支援が必要だと思っています。

加賀地方の人たちに能登にある障害者支援事業所の人たちが大地震後どう生きてきたかをお伝えし、支援の輪をより広げたいと思い、今回この催しを企画しました。

ぜひ時間を作って、どこかの会場に足を運んでみて下さい。そして、能登の障害者支援事業所のみなさんと心をつなげ、共に生きていってください。

なお、この企画は、NPO法人ゆめ風基金より全面的な資金援助をいただくことで進められています。深く感謝致します。

<会場と日程>

金沢	小松	白山
会場：ひまわり教室 金沢市十一屋町4-34	会場：島町公民館 小松市島町又189-1	会場：つながりの家 白山市北安田町112-1
8/24 (土)	9/21 (土)	11/16 (土)
写真パネル展、商品販売 (10:00~16:00)		
現地からの報告 (13:00~15:00)		
8/25 (日)	9/22 (日)	11/17 (日)
写真パネル展、商品販売 (10:00~15:00)		

※「現地からの報告」は、各会場とも土曜日だけです。

【要約筆記あり】

※配慮が必要な方は事務局までご連絡ください。(各会場の事務局は下記の通り)

【金沢】 ☎076-243-6786 (ひまわり教室)

【小松】 ☎0761-58-0366 (あんとふる)

【白山】 ☎076-274-2230 (つながりの家)

1995年の阪神淡路大震災から続く

被災障害者への支援

ゆめ風基金は、1995年阪神淡路大震災をきっかけに被災障害者の救援を目的として、永六輔さん、小室等さんから著名人と障害者、支援者の呼びかけで発足しました。以来これまで延べ502件の支援を行い、拠出した被災障害者救援金・救援活動費は5億8404万円にのびります。

能登半島地震では、いち早く障害者救援活動を開始、今も障害者の生きる場・働く場の復興を応援しています。

ゆめ風基金とは？